

特集

二枚貝の減少と再生への道 — 氾濫原生態系の指標として —

氾濫原は淡水性二枚貝の大事な棲家です

河川の増水により水が溢れ、浸水する範囲を氾濫原と言います。氾濫原には、淡水性二枚貝の棲家となる独特の水域環境が形成されています。しかし現在、二枚貝は人知れず且つ急速にその姿を消しています。二枚貝が生息できる氾濫原水域とは、どのような環境なのでしょう？

氾濫原とその変貌



近年に見られる氾濫原水域



水路

昔ながらの蛇行する土水路

直線的に固められた近年の水路



河川

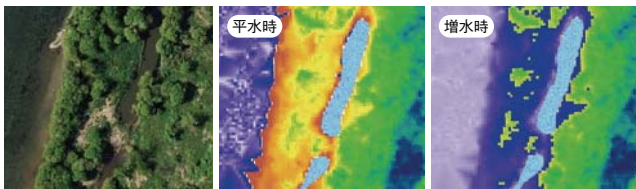
1973年：網状の流路と広い河原

2003年：固定した流路と樹林

水路と氾濫原の冠水



かんがい期になると、水路に水が行きわたる



増水時、氾濫原は冠水し、たまりは本川と連結する

氾濫原を代表する生き物、淡水性二枚貝(イシガイ類)

